

10月

月間指導計画

4歳児



保育目標		秋の自然にふれて興味をもつ。 友だちとイメージを共有しながら、様々な活動を楽しむ。 身の周りのことを自分でしようとする。			
子どもの姿		運動会に向けてダンスやかけっこなどを目標をもって頑張ろうとする姿が見られている。 園庭にある草木の変化に興味を示し、観察することを楽しんでいる。 友だちとのかかわりの中で、うまく伝えられずにトラブルになってしまうことがある。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	気温に合わせて水分補給や衣類調節を行い、健康に過ごそうとする。	活動量に合わせて休憩時間を設定することで、子どもたちが気づくような声かけをしていく。	喉がかわいたときに自分で水筒のお茶を飲む。 自分で衣類の調節をしようとする。	自分から気づきにくい子には保育者が自分で気づけるような声かけをし、褒めることでできることを増やしていくように配慮する。
	情緒	友だちや保育者に安心して自分の気持ちを伝える。	友だちと一緒にしたい気持ちを大切に、保育士が仲介することで気持ちを表すことを経験できるようにしていく。	思っていることを保育者や友達に話す。	うまくいかず気持ちが沈んでいる子には個別に関わり、ゆったりと受け止めることで気持ちの安定を図る。
教育	健康	汗をかいたら自分で気がついてふこうとする。	汗拭きタオルを戸外活動時には用意し、活動の様子をみて汗をふくことを伝えていく。	体を動かした後、自分で汗を拭く。	日中はまだ汗をかくことがあることを保護者に伝えて、引き続きタオルの用意をお願いする。
	人間関係	保育者や友だちと一緒にすることを喜びながら行事に取り組む。	友だちと一緒に頑張っていることを伝えていき、当日はその達成感を味わえるようにする。	運動会に参加し、友達と一緒に体を動かす。	当日不安な子には個別にやるべきことを丁寧に伝えてスムーズに参加できるようにしていく。
	環境	身の回りのことを自分で片付けようとしたりする。	衣類を脱いだ後の片付け方について子どもたちに伝える。	脱いだ衣類をハンガーやカバンに片付けることができる。	衣類のサイズや記名などの確認について掲示板などを使って保護者にお知らせする。
	言語	保育者が間に入ることで、友だちの話をきいたり自分のことを伝えたりする。	運動会など行事の後に、感想などを友だちの前で伝える機会をつくる。	自分の知っていることや思ったことを友だちに伝える。	集団の前では言いづらい子は保育者があらかじめ個別に聞き取りをし、保育者から発表するようにする。
	表現	ダンスやかけっこなどで体を動かすことを楽しむ。	運動会当日は会場の安全点検やプログラムの進行について他保育士と協力していく。 運動会でつけた小道具は整理して戸外あそび時に子どもが出し入れしやすいよう工夫する。	本番で使った小道具などをつかって運動会ごっこを楽しむ。	運動会ごっこでは参加を無理強いないで、自分のペースで参加できるようにしていく。
食育		収穫する喜びや季節の変化を感じ、さつまいもをつかった活動を楽しむ。	竹串の使い方について、良い例と悪い例をつかって教える。	芋ぱん作りを行う。	指先に力が入れにくい子などは保育士があらかじめデザインした芋ぱんを用意しておく。
健康・安全		活動量や気温の変化によって体調を崩しやすいことを話し、自分で調節しながら過ごす大切さを伝える。			
保護者支援		行事が続くので、準備物などは早めに連絡をし、家庭でも体調管理に気をつけるよう呼びかけていく。			